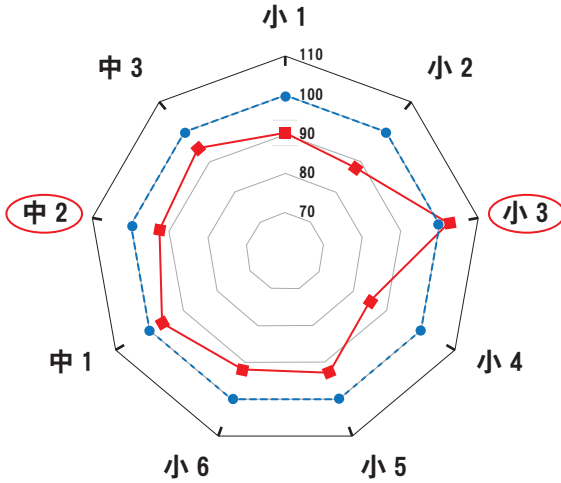


# 令和5年度 標準学力検査・総合質問紙調査結果

本町で毎年実施されている「標準学力検査（CRT検査）」および「総合質問紙調査（i-check）」の結果についてお知らせします。なお、本調査は町内小学校1年生～中学校3年生までを対象に実施したものです。

## 1 標準学力検査(CRT検査)結果

---●--- 目標値    ■ 全教科平均



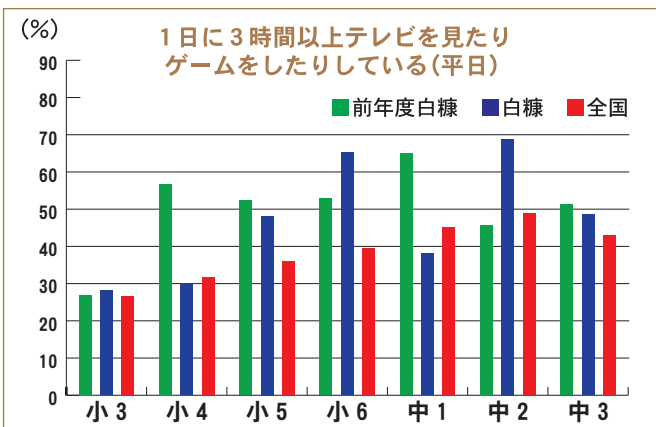
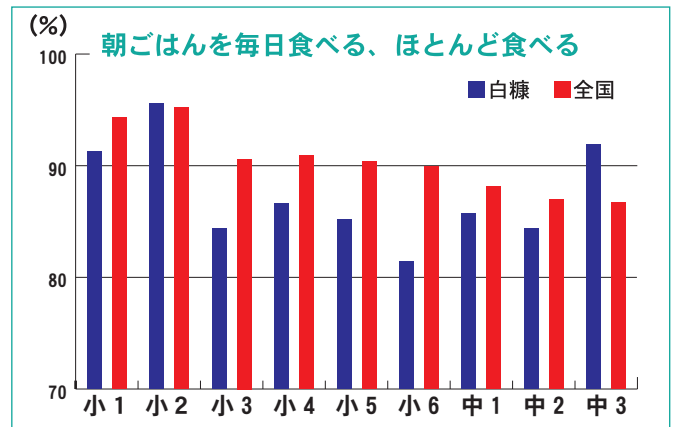
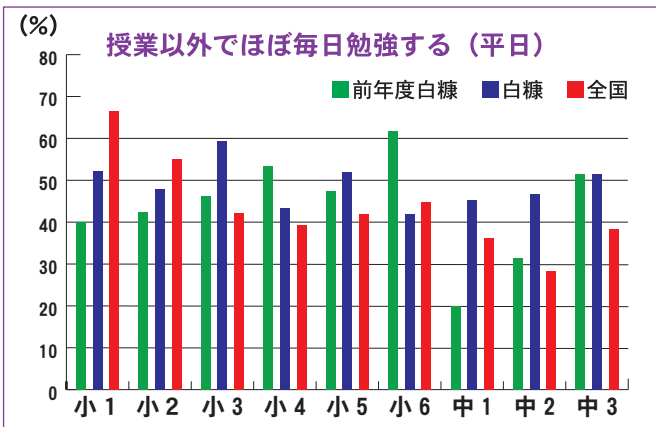
小学校3年生で、全教科の平均が目標値に達しました。その他の学年は、目標値を下回りました。また、赤丸囲みの2つの学年は、昨年度より伸びが見られた学年です。全体の傾向として、記述式の問題の正答率が低いという結果でした。しかし、無回答の児童生徒の割合は改善傾向が見られます。

活用問題の得点が目標値より高い教科・領域もあり、今後の伸びが期待できる兆候が随所で見られました。

4年生以上はテストで間違えた問題のやり直しをしない人が多い状況でした。

小学1～2年は国語と算数の2教科、小学3～4年は社会と理科を加えた4教科、小学5年～中学3年生まではこれらに英語を加えた5教科を実施しています。

## 2 総合質問紙調査(i-check)結果



6つの学年が昨年度よりもほぼ毎日学習する割合が高くなっており、学習習慣が定着している様子がうかがえます。

昨年の白糠町の結果から改善は見られますが、まだほとんどの学年で、平日3時間以上、動画を見たり、ゲームをしたりする割合が全国と比べて高くなっています。

朝食を毎日食べるという子どもが全国と比べて少ない学年があることも課題です。

## 3 今後に向けて

- 授業では、自分の考えや意見を筋道を立てて表現できるよう、授業改善を図ります。
- 得意な分野を伸ばし、不得意な分野を克服できるよう、家庭学習の質の向上に努めます。
- 学習習慣、運動習慣の定着や情報端末機器を使用する時間の家庭のルールを見直し、規則正しい生活リズムの確立に向けて啓発を図ります。

### 【問合せ先】

教育委員会管理課  
指導室  
☎ 2-2171  
内線 (266)